

## 「県立むこがわ特別支援学校整備事業」

令和3年2月1日協議終了

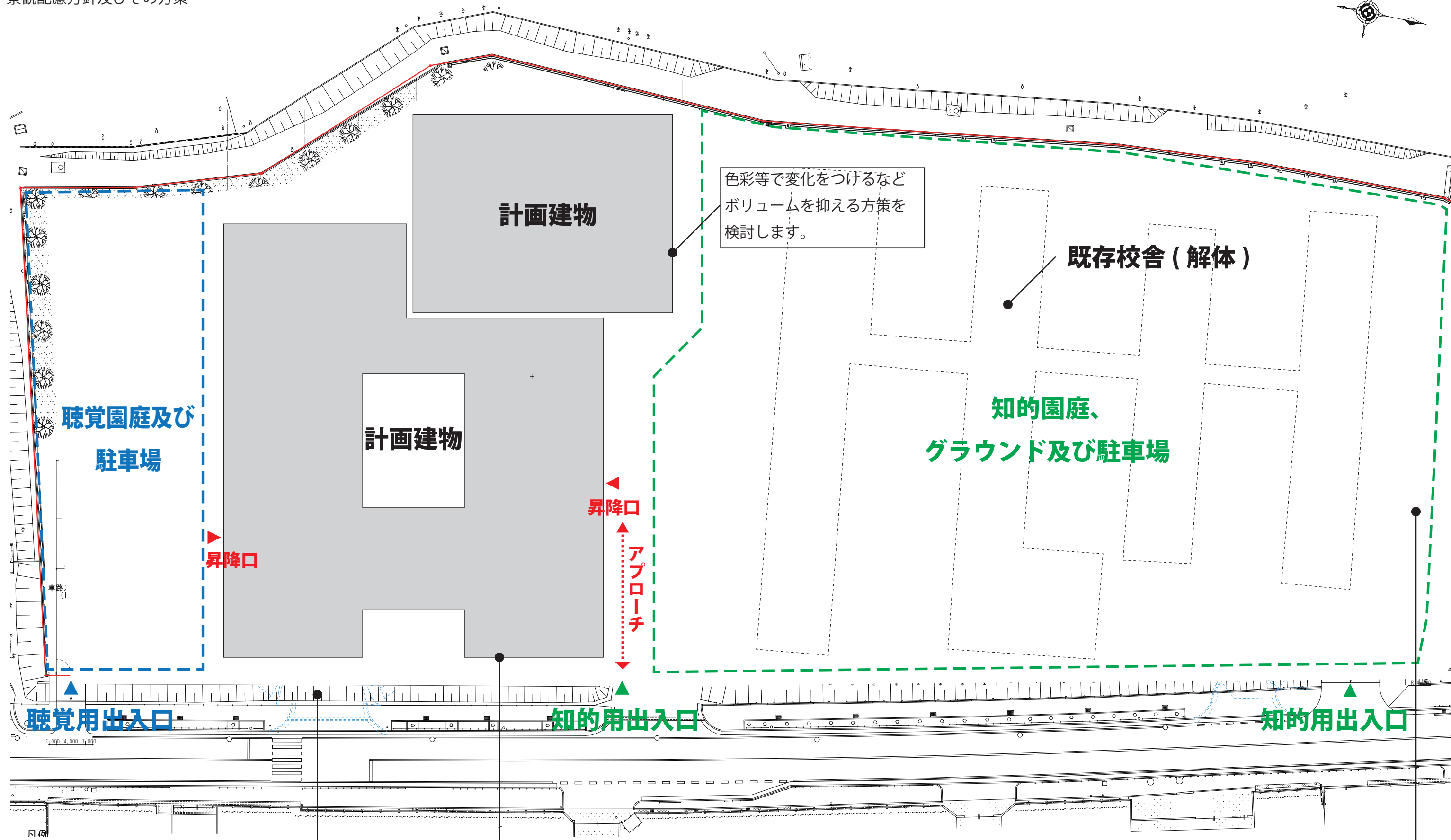
### 行為の概要

申出者	住所 神戸市中央区下山手通5-10-1 氏名 兵庫県知事 齋藤 元彦
設計者	住所 大阪府大阪市北区大淀川一丁目1番90号梅田スカイビル「ガーデンファイブ」 氏名 株式会社 梓設計 関西支社
行為の場所	西宮市 田近野町
敷地面積	14,343.24㎡
施設用途	特別支援学校
建物規模	高さ約25m
備考	

※この資料に記載の内容は、令和3年2月1日時点のものであり、その後変更となる可能性があります。

【兵庫県立むこがわ特別支援学校（計画策定段階協議）】における助言について

助 言	回 答
<p>○形態について</p> <p>(1) 校舎棟に比べ、体育館棟は開口部が少なく、ボリュームが大きく見える。ボリュームを抑える方策が必要である。</p> <p>(2) 道路に面する東面妻側に開口部を設けることはできないか。廊下の突き当たりなどスリット窓を設置することで、まちなみに表情を示せないか。</p> <p>○意匠・色彩について</p> <p>(3) 周囲の建築物は、白ではなく YR 系の色調が多いため、本計画においても同様の色彩を基調とした周囲と調和する色彩としてはどうか。</p> <p>(4) 特に道路から望見されやすい妻側においては、単調な壁面とならないような素材や色彩を検討してほしい。</p> <p>○外構計画について</p> <p>(5) 敷地内の植栽計画は、周囲を囲うような連続したものを目指してほしい。</p> <p>(6) 道路区域と一体となって形成されている敷地内の既存樹は保全する方針としてほしい。また、設計段階ではあらかじめ保全する樹木を明確にするのが望ましい。</p> <p>(7) グラウンド北側の駐車場については、道路から見る駐車場が無機質な印象とならないような景観配慮をしてほしい。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>	<p>○形態について</p> <p>(1) 色彩等で変化をつけるなど、ボリュームを抑える方策を検討します。</p> <p>(2) 道路に面する東面の一部に開口部等を設けるよう検討します。</p> <p>○意匠・色彩について</p> <p>(3) 周囲の建築物と調和する色彩を検討します。</p> <p>(4) 単調な壁面とならないよう色彩等を検討します。</p> <p>○外構計画について</p> <p>(5) 機能的に支障なくできる範囲で、連続した植栽計画となるよう現状の道路区域の植栽の状況を踏まえ、検討します。</p> <p>(6) 学校運営上及び管理運営を踏まえて支障がない範囲で保全に努めます。</p> <p>(7) 敷地北側には植栽等を設けるなど検討します。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>



色彩等で変化をつけるなど  
ボリュームを抑える方策を  
検討します。

現状の道路区域の植栽の状況を踏まえ、  
機能的に支障ない範囲で連続した植栽計  
画となるよう配慮します。

・開口部を設けるなどまちなみに表情を示すよう配慮します。  
・道路から望見されやすい妻面が、単調な壁面とならないよう  
色彩等を検討します。

敷地北側には植栽等を設け、無機質な  
印象とならないよう配慮します。